

別記様式（第3条関係）

会 議 録（1）

会議の名称	令和4年度 第2回桶川市いじめ対策委員会	
開催日時	令和4年11月24日（木） （開会）午後1時30分・（閉会）午後3時20分	
開催場所	桶川市立加納中学校 会議室	
主宰者の氏名		
議長の氏名		
出席者氏名	3名	
欠席者氏名	2名	
説明員氏名		
事務局職員 職名及び氏名	2名	
会 議 事 項	議 題	
	開会	
	1 あいさつ	
	2 学校概要説明	
	3 生徒指導委員会視察	
	4 協議等	
	（1）生徒指導委員会について	
	（2）その他	
	5 次回以降の予定について	
	閉会	
	決定事項等	
配布資料	次第、委員会名簿	

会 議 録 ( 2 )

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
	開会
	1 あいさつ (省略)
	2 学校概要説明 (省略)
	3 生徒指導委員会視察 (省略)
	4 協議等
委員長	(1) 生徒指導委員会について ・今回のような会議の視察はいじめ対策委員会としては2回目である。中学校の生徒指導委員会に対してご質問があったら出してほしい。
委 員	・今日の数人は前回の時より少なかった印象があったがどうだったか。
委員長	・生徒指導主任と学年の担当が出ていた。
事務局	・生徒指導部会と教育相談部会が週1回ずつあり、それぞれの主任と部員が別々に出ていることが考えられる。
委員長	・授業の時間の設定となるとこの程度の人数が適正である。時間割を操作して、労力を要してみんなの時間を合わせている。学校にとっては大変な労力である。
委員長	・資料を事前に作成して、生活アンケートの内容をもとにして話し合いを進行していた。また生活アンケート以外にも話題として分けながら、話し合いをしていたが、毎月、生活アンケートをとっているのか。
事務局	・毎月アンケートをとっていることはない。リアルタイムの生徒指導案件を扱っている。校内で起こった生徒指導案件についての共通理解の場となっているのではないか。
委員長	・生活アンケートであげられた数が学年により差が見られたが、数としてはどうなのか。小学校ではどうなのか。話し合いでまとめていくことで有効な今後の手段になることが考えられる。
事務局	・中学生の頃であると、誰にも相談しないという生徒もいるので、あがってきている数としては妥当ではないかと考える。小学生くらいだと100程度あげられることもある。
委 員	・同じ名前の子が出てくる傾向がある。改善してまた支援を要する事案が発生し、教職員がよく見守っている証拠である。
委員長	・会議の情報交換で不足している内容等があれば、今の協議の場を出してほしい。
委員長	・今、さわやか相談員の勤務は、どの程度であるか。

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	・週5日程度の勤務があり、生徒がいる時間はある程度カバーして勤務している。週1回出勤するスクールカウンセラーとのパイプ役を果たしている。
委員長	・今もさわやか相談室と呼ばれているのか。
事務局	・そのとおりである。
委員長	・今日の会議の中で、さわやか相談員が、報告を求められても、何も内容がなかったのは安定した経営ができている証拠である。
委員長	・養護教諭は、生徒のつぶやきを拾うと言っていた。熱心な証拠である。聞き方が上手な印象を受けた。養護教諭にもいろいろなタイプがいるが、来室させることで自分の心のもやもやを吐き出させたことで、効果的な事例もあった。
委 員	・委員に囲まれての会議は大変であったと思うが、みなさんよく意見を述べていた。
委 員	・SNSの問題への対応は大変であると思う。ネット上にあげたものはずっと残ってしまう。保護者も大変である。生徒は、怖さを知らない。だからできてしまう。インスタ等で写真を載せてしまうことが気軽にできてしまうから、軽く考える面もある。
委 員	・大事（おおごと）であることに子供は気づいていない。だから簡単にあげることができてしまう。
委 員	・触法行為で中学生も訴えられてしまう。14歳を過ぎていると家庭裁判所にいってしまう。保護者も子供も後悔する場面が多い。
委 員	・保護者向けの研修会を充実させてほしい。
委員長	・スマホを持たせることは、小学校低学年の児童まで下がっている傾向がある。小学校高学年でも面白さに目覚めると、どうなってしまうのか。SNS上の「いいね」が問題になっている。
委 員	・スマホは手軽なだけに、一人一人の認識も軽い。SNSは今後大変にある。
委員長	・定期的な指導は、以前のように業者等を通じて、やっているのか。
事務局	・事務局としては、文科省のサイトを紹介する通知を各学校に出して、ネットモラルを啓発する動画視聴等を勧めている。小中学校でネットトラブルの問題を耳にしている。

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何度も何度も繰り返し、内容を変えながら注意喚起をしていかないと、子供も教職員も今の情報化社会に追いついていけないと感じる。教職員が SNS についての知識に追いついていない状況がある。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ LINE などの SNS は人数が増えると、指導が大変であり、一人一人に指導をしていると時間を要し、他の教育活動や指導に支障が出てしまう。学校は大変であると実感する。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2 回目の現地視察ということで、生徒指導委員会の内容の理解を、委員全員で共有できた。</li> </ul> <p>(2) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ なし</li> </ul> <p>5 次回以降の予定について (省略)</p> <p>閉会</p>